

外国人困窮者支援のいま  
—北関東医療相談会月間レポート：2022年1月版—

◆支援日誌

◇1月4日「新年のご挨拶とお願い」

皆様

あけましておめでとうございます。本年もよろしくおねがいします。

年末は12月24日、25日、26日、12月31日、1月1日、1月2日と教会のお勤めがありました。昨日1月3日はさすがに午後まで寝ていました。それでも署名活動ができたことはとてもうれしく思いました。今年も皆様とご一緒に貧困、小さくされている人のために働き良き時代にしていきたいと思います。

新年早々、北関東から離れた静岡県の方から食糧支援の申し出がありました。少し遠いのでどなたか静岡県の社会資源と結べる方はいませんか。



◇1月5日「支援のお願い」

皆様

ネパール人バピタさんは、今月24日に済生会中央病院で検査を行います。治療方針を固めていきたいと思っていたところ、添付のように支援要請している団体がありましたのでお知らせをします。

バビタさんにご支援くださったみなさま  
バビタさんの医療費・保証金・緊急生活費へのご寄付の使途と、今後必要な資金について

わたしたち「収容ではなく安心安全な暮らしを」および支援者一同は、バビタさんが仮放免後すぐに医療を受けられるように、医療費80万円、保証金10万円、緊急生活費10万円、計100万円という見積もりを立て、バビタさんへのカンパを募っていました。そしてバビタさんがご自身の状況を伝え声を上げたことで、皆様の暖かいご支援計1,242,500円が集まりました。ご支援くださったみなさまにあらためてお礼申し上げます。

当初は仮放免後すぐに子宮筋腫の手術を考えていたのですが、仮放免後に検査を受けたところ、現状では手術ができない健康状態であることがわかり、定期的に通院をしながら様子を見ています。現在は心身の療養をしています。

ご支援いただいた分から191,222円を医療費、裁判費用、生活費等に充てさせていただきました。

つづく

そのような中で、バビタさんは生きることに様々な葛藤を抱えています。

バビタさんは裁判で国を提訴し戦っていましたが、負けてしまいました。今も裁判は継続中であり諸々の費用が見込まれます。

バビタさんの帰国後のリスクは高く、命や身体的拘束等の危険を非常に恐れています。しかし、離れてネパールで暮らす子どもに対する心配も日に日に大きくなっており、危険を覚悟の上で帰国も考え始めています。ただ、無一文で帰ることは本当に危険であり、安全を確保する資金がなければ帰国もできません。

そのため、バビタさんへのカンパを引き続き集めています。

前回手術費用として頂いたカンパを、引き続きバビタさんに使って欲しいという方は、ぜひその旨をメール(nodetentionyeslife@gmail.com)、DM等でお知らせください。確認が取れなかった分の金額は、主に他の仮放免の方々の医療費とさせていただきますと思います。

つづく

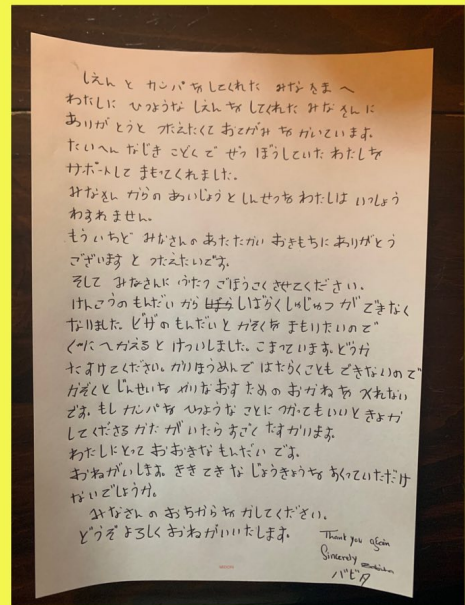
カンパの使用状況について、プライバシーの保護のために本人と支援者一同で慎重に検討していた結果、ご報告が遅れてしまいました。ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。

※用途が当初と変わったため、寄付のご返金をお求めの方は、メールでご連絡ください。(明細や通帳のご用意をお願いします)

誠に勝手ながら、8月末までにご連絡いただいた方のみご対応いたします。

「収容ではなく安心安全な暮らしを」、支援者一同

振込先  
千葉銀行 南行徳支店 普通口座  
口座番号: 3611808  
口座名: 収容ではなく安心安全な暮らしを



◇1月11日「署名のお願い」

あらためて支援を願います。バナーも変わったことですのでよろしく願います。  
皆様拡散のほど願います。

[【お金のない人から、高額な医療費をとらないで！】 コロナ禍で苦しむ移民・難民の命を守る制度を整えてください](#)



◇1月23日「コロナの検査で3万円、公費負担にならない？」

皆様にご相談です。

昨日、川口市のクルド人家庭からコロナに関する相談です。コロナの診察で30000円の検査費用が掛かった、とのこと。昨年も似たようなことでお金をとられているケースがありました。

本来初診料でよいはずなのにどうしてなのか日本語の話せる娘に聞くことになりました。

コロナの症状があって先生が診るといえば公費になるのが、そのまま自費扱いになるのはおかしいと埼玉県のコロナ対策室のサポートセンターに相談してみましたが、概ね公費扱いになるとのことでした。返事の仕方によっては自費扱いになるとも言います。そのようなやりとりは外国人はもとより高校生では知識も経験もないのにどうしてそうなるのでしょうか？

明日は埼玉県の医療安全相談センターにきいてみようと思います。

## ◇1月26日「コロナの検査で3万円【続報】」

先日のPCR検査の治療費についての続報。

昨日と一昨日に川口市保健所の女性担当者に支払いについて聞いてみたところ、「支払い方については知りません」と言われました。その後、埼玉県健康課に問い合わせたところ、川口市の問題だから川口市に聞けと一点張りで途中で怒って切られてしまいました。昨日ようやく理解の早い担当者が出て「仮放免者」というだけで事態を把握しました。

- ① クルド人が行った病院は内科ではなく耳鼻科で結局PCR検査ではなく、単に風邪症状と判断されたようなので医師は公費扱いにしています。  
→微妙な判断なので後で病院に行って良く聞いてみたいと思います。
- ② 家族全員PCR検査が必要なので、保健所の担当者に「症状があるから自宅から病院に行くまでの車を出してほしい」と伝えましたが、「陽性と判断されていないので出すことが出来ない」と言われました。
- ③ 高校生の娘は鼻がつまり味がしないと訴えているのに症状と判断されていないようです。ほとんど理解ができていません。
- ④ 聞き取りは上手ですが相手の立場にどれほど立とうとしているのかわかりませんでした。
- ⑤ 結局タクシー代を渡すことにしました。
- ⑥ 以前、クルド人について色々聞かされました。しかし、誰も彼等に寄り添うことを考えていないようでした。
- ⑦ 仮放免者がいるところ、お金がなく、言語困窮者がいた時に行政は逃げる、押し付ける、というような事を感じているのは私だけではないだろう。
- ⑧ 今年の省庁交渉でも若い行政マンが大挙して出ていたが、逃げる、押し付ける、自分のことではないと言い張る。
- ⑨ ますます社会の中で小さくされていくのはクルド人だけではない。支援者も小さくされていくのだろう。

私の知り合いのシスターは、日本は「ガラパゴスだ」といいました。世界の貧困者・差別されている所で働いての感想をそう言っていました。差別されている人達と関わると本当にそうなんだろうなと思います。

皆様でもう少し違った世界をつくっていきたいと思います。

注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

## ◆支援状況

### ◇個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。  
相談支援や医療支援、入管関係支援などを行う。

### ◇電話相談（受信・発信件数）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1月	8	5	7	20	43	62	63	14	9	21	37	16	11	15	58
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
25	55	73	66	62	84	85	30	56	60	68	72	55	48	46	66

- ・電話相談総件数 1340 件
- ・1日平均 43.2 件（最大 85 件）

### ◇食料・生活必需品等の配布

- ・食料（米、おかず、野菜、調味料など） 113 件
- ・衛生用品（マスク、石鹼、アルコール消毒液） 48 件 ※臨時で配送

### ◇住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3 部屋借り上げ。  
仮放免のフィリピン人 2 人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1 軒借り上げ。  
ベトナム人仮放免者が 1 人が入居中。

編集：大澤優真